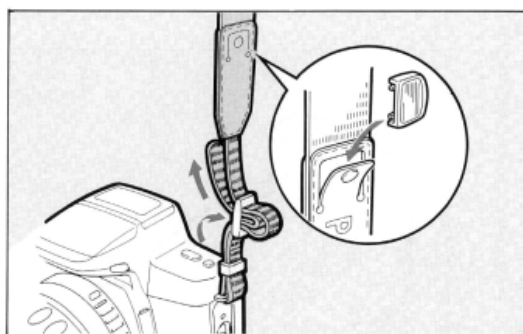


(1) ストラップを取り付けます

I カメラの準備と基本操作



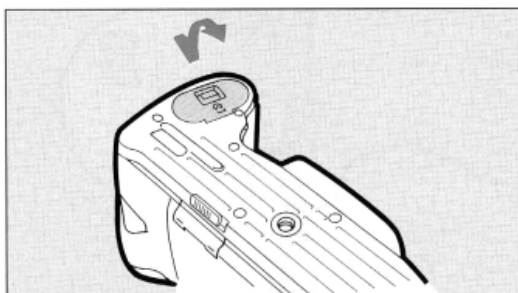
図のように、ストラップを取り付けてください。

- * 歩行中に、カメラがあまり揺れないように、腰より上にくる長さに調節してください。
- * ストラップの先端は、留め具の内側になるように通すとしっかり取り付けられます。
- * ストラップのポケットは、ファインダーキャップ、レリーズソケットキャップ、ホットシューカバーなどの小物入れとしてご利用ください。

⑨

(2) 電池を入れます

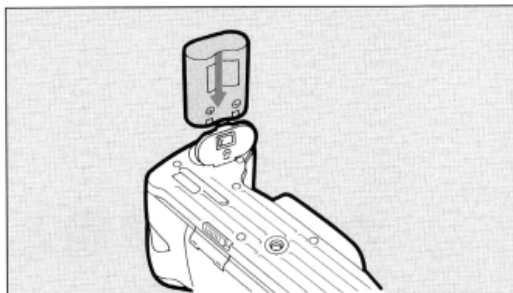
1



1. 図のように、電池ぶたの開放レバーを矢印の方向へ引いて、電池ぶたを開きます。

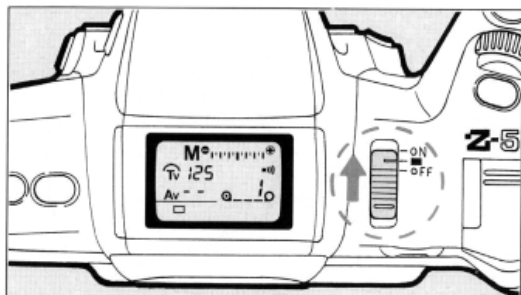
- * Z-50p は電池で動きますから、操作をする前には、必ず決められたリチウム電池 **2CR5** 同等品を1個入れます。Z-50p には、サンプルの電池が添付されていますので、この電池をお使いください。

2

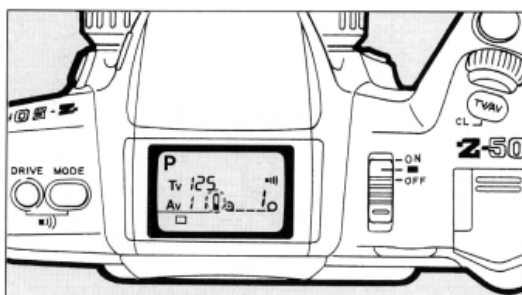


2. 電池の金属接点側を先に、カメラの＋表示に合わせて電池を入れ電池ぶたを閉じてください。

⑩



3. 電源スイッチを **ON** または **ON** にし、図のように表示パネルに表示が出ることを確認してください。

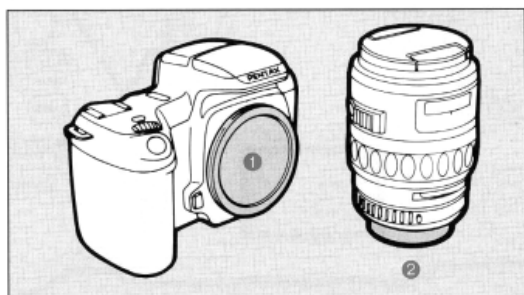


※電池が消耗した場合

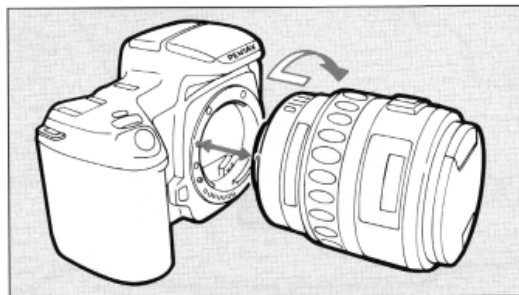
電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池警告 が点灯します。お早めに電池を交換してください。電池警告 が点滅に変わると、シャッターが切れなくなります。

- * 表示パネルの電池警告 が点滅になると、ファインダー内に表示中のLCD表示は消灯します。
- * 電池を入れ直すと、フィルムカウンターの値、ISO感度の設定を除いて、Z-50Pの諸設定は工場出荷時の初期設定に戻ります。

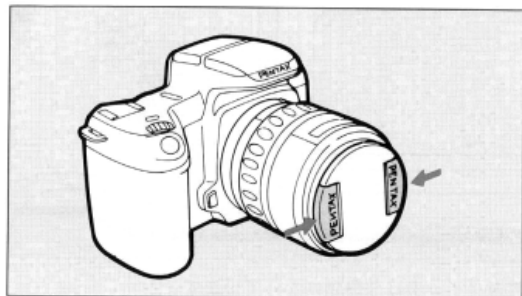
(3) レンズを取り付けます



1. 図のように、①のボディカバーと②のレンズ後カバーを外します。
- * ボディカバーは工場出荷時のキズやホコリ防止用のものです。保管用には、別売りアクセサリとして「ボディマウントキャップK」が用意されています。
 - * FAズームレンズの着脱は、不用意なズーム作動を防ぐため、電源スイッチを **OFF** にした状態で行ってください。



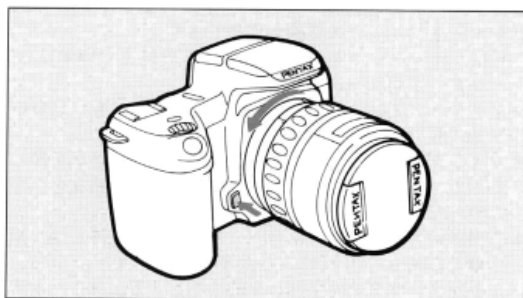
2. ボディとレンズの赤点指標を合わせて、レンズをボディのマウントにはめ込み、レンズを右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。



3. レンズの前キャップは、図のように矢印部分を内側に押すと外れます。

- * 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、故障などにつきましては保証いたしかねます。
- * ボディやレンズのマウント面には、レンズ情報接点やAFカブラーがあります。この部分にゴミや汚れが付いたり、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因になる場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

※



※ レンズを外すには

レンズを外すときは、レンズロックボタンを押したまま、レンズを左へ回すと外せます。

- * 外したレンズは、接点やカブラーをキズ付けないようにマウント面を上にして置いてください。

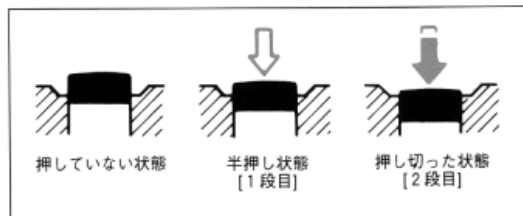
⑬

(4) シャッターボタンの操作

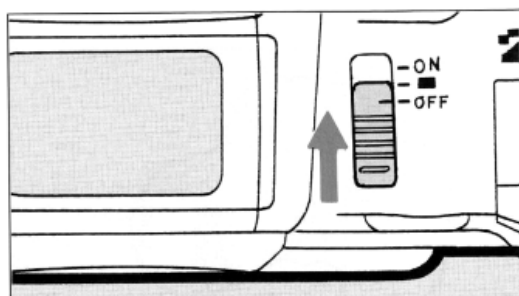
Z-50Pのシャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを半押しすると[1段階目まで押し]、露出計やオートフォーカス機構が作動します。さらにシャッターボタンを押し切る[2段階目まで押し]と、シャッターが切れ撮影できます。シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、息を止めて指の腹でゆっくり押ししてください。

* フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押してみて、どこまで押しと半押しになるのか、感覚をつかんでください。

* 露出計のスイッチは、シャッターボタンを半押し後、指を離しても約10秒間入ったままになります。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、露出計スイッチも継続します。



(5) 電源スイッチの操作



電源スイッチは3段階になっています。

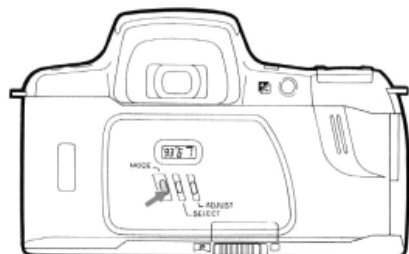
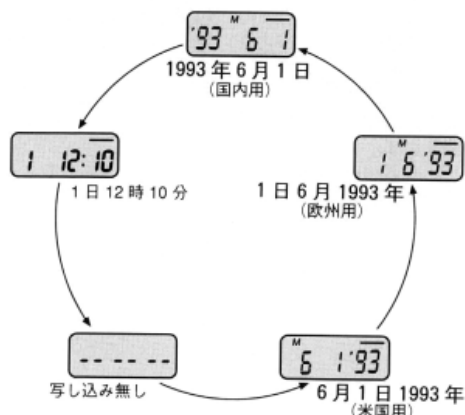
- ☐ ON = フルスベックポジション
全ての露出モードが使用可能です。
- ☐ = グリーンポジション
絞りがA位置では、プログラム自動露出のみ。絞りがA位置以外では、絞り優先自動露出のみになります。
- ☐ OFF = 電源OFF
使わないときは、必ずこの位置にしてください。

(6) データバックを使います

右図のように、矢印の **MODE** ボタンを押して、写し込みたい内容を選びます。表示は図のように **MODE** ボタンを押すごとに変わり、表示に出ている日付けまたは時間が写し込まれます。

M は「月」の位置を表わしています。

— はシャッターを切ると点滅をして、日付けや時間が写し込まれたことを知らせます。



- * 日付けや時間の表示は、撮影のたびに写し込まれます。
- * **---** にすると何も写し込まれません。
- * 日付けの表示方法は、3種類あります。
- * データの写る部分(画面右下)に白や黄色のものがあると、写し込まれたデータが見えにくくなりますので、構図に注意してください。
- * 日付けの修正は、81ページをご覧ください。
- * データバックの電池は、リチウム電池を使用します。データの写り込みが薄くなったり、データバックの表示窓の表示が薄くなったり、消えた場合には電池を交換してください。なお、電池の交換は80ページをご覧ください。

15

(7) フィルムを入れます

カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れないで練習されることをお勧めします。

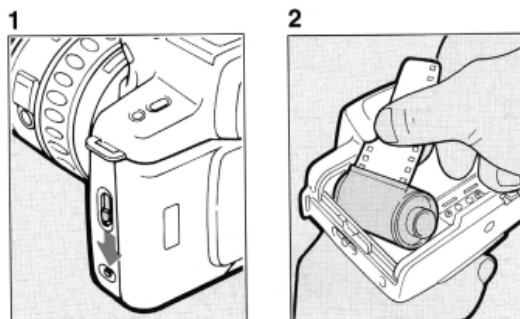
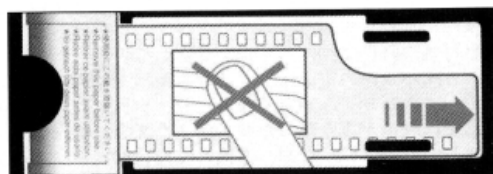
フィルム感度自動セット

このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感度が自動的にセットされます。

[ISO25~5000 までのフィルムが使えます。]

* ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセットできる DX フィルムですが、DX 以外のフィルムではフィルム感度が 100 にセットされます。

* カメラを購入後、初めてフィルムを入れるときには、裏ぶたを開けて写真のような防傷カバーをシャッター幕に触れないよう注意しながら、取り外してください。

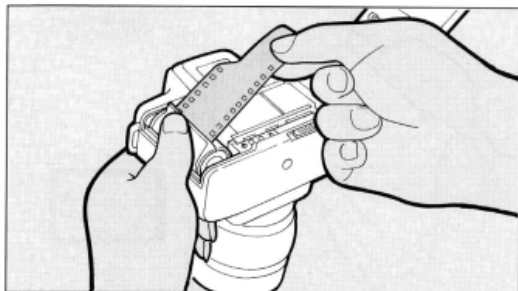


1. 裏ぶたの開放レバーを矢印の方向へ下げると、裏ぶたが開きます。
2. フィルムの凸部側を下にして上側から先に入れ、次に下側を入れます。

* フィルムを入れるときは、直射日光が当たらないところで行なってください。

16

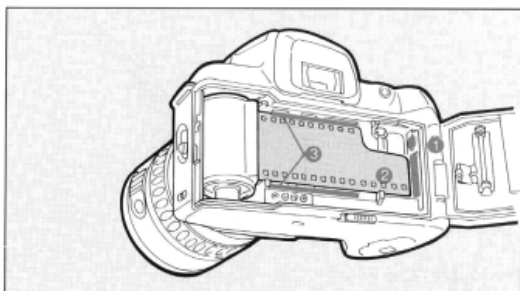
3



3. 図のように、左手でパトローネを押さえながら、手やフィルム先端がシャッター幕に触れないように気を付けて、フィルムを引き出します。フィルムを引き出し過ぎた場合は、フィルムをパトローネに戻してたるみを取ります。

* フィルム室内のDX情報ピンは、フィルム感度などを読み取る接点です。キズやゴミ、汚れを付けないように、注意してください。ゴミや汚れがあるときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

4



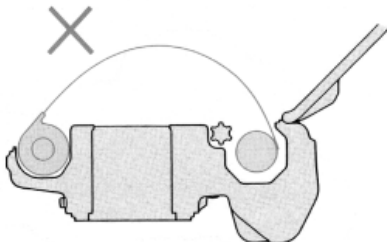
4. 図のように、フィルム先端部を①の赤色先端マークに合わせます。

* フィルムの穴[パーフォレーション]を②の歯[スプロケット]に合わせ、③のガイドレール[図中、赤線部分]の間にフィルムが入っていることを確認してください。

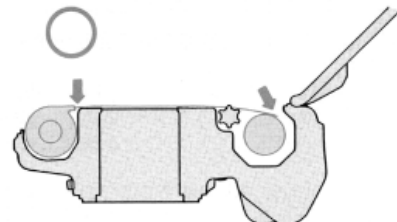
* シャッター幕は非常に薄い幕でできており、精度の高いものです。手やフィルム先端などが当たりますとシャッター幕を破損させる恐れがありますので、絶対に触れないように注意してください。

⑪

フィルムのたるみあり



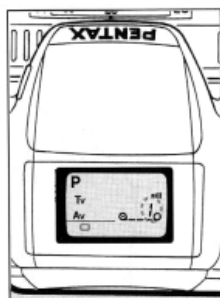
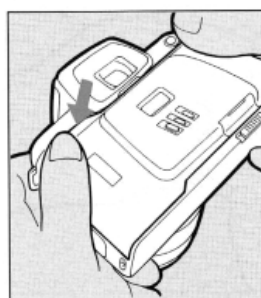
フィルムのたるみなし



* フィルムの先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直すか、曲がった部分を切り取ります。

⑫

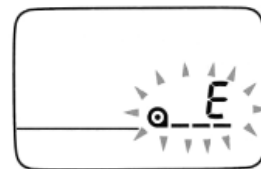
5



5. 裏ぶたを閉め電源スイッチをONか■にすると、自動的に巻き上げられます。

表示パネルに [1] と [a-m] が出ていることを確認します。

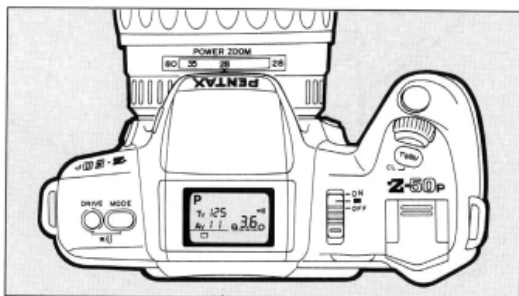
* 表示パネルのフィルム枚数表示は、シャッターボタンを押して撮影することによって1つずつ進みます。



* 表示パネルに [E] が点滅しているときはフィルムが正しく入っていません。裏ぶたを開けて、フィルムを入れ直してください。

(8) フィルムの巻き戻しについて

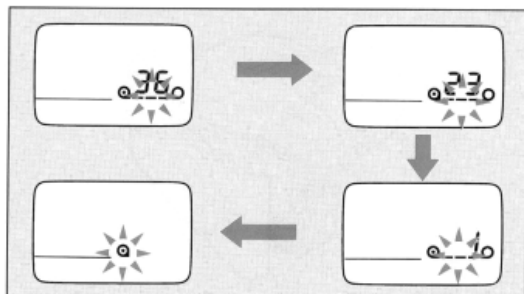
1



1. フィルムの最後まで撮影すると、自動的に巻き戻しが始まります。

- * 巻き戻し中は、表示パネルに  が点滅して巻き戻し中であることを知らせます。
- * 巻き戻し中は、表示パネルに撮影枚数が逆算表示されます。
- * 巻き戻し中は、裏ぶたを開けないでください。
- * フィルムは直射日光が当たらないところで取り出してください。

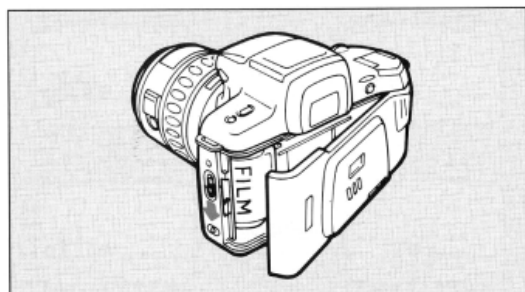
2



2. 巻き戻しが終了すると、表示パネルの  が点滅し、撮影枚数の表示が消えます。

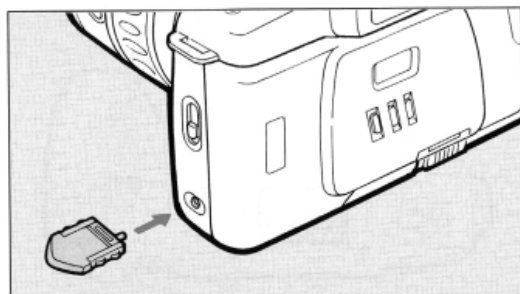
(19)

3



3. 裏ぶたを開け、フィルムを取り出します。

- * 巻き戻しは24枚撮りフィルムで約15秒です。
- * カメラを使わないときは、電源スイッチを必ず切っておいてください。
- * 表示パネルの  の点滅を確認してから、裏ぶたを開けてください。
- * フィルムの規定枚数以上の撮影をすると、最後のコマは現像所でカットされる場合がありますのでご注意ください。
- * フィルムの巻き戻しが、電池の容量不足により途中で停止したときには、裏ぶたは開けずにそのままの状態、電池の交換をしてください。



フィルムの途中巻き戻し

フィルムの規定枚数まで撮り終わらないうちに途中で取り出したいときに使います。

電源スイッチを入れ、図のフィルム途中巻き戻しボタンをホットシューカバーFeの突起で押してください。巻き戻しが始まります。表示パネルの  の点滅を確認してから、裏ぶたを開けてください。

- * 電源スイッチが **OFF** になっていると、途中巻き戻しの操作はできません。

(20)